

## 会 報

### ○『宗教研究』編集委員会

日 時 二〇〇四年六月一九日(土)一二時三〇分～一六時

場 所 東京大学 法文二号館多分野交流室

出席者 芦名定道、安達義弘、小坂国継、ポール・スワンソン、関一敏、西本照真、長谷部八朗、藤原聖子、山中弘、渡辺雅子

### 議 事

- ・二〇〇五年九月発行の特集号(テーマ「宗教——相克と平和」)の構成(一部はIAHR世界大会の七つのセッションの報告、二部はテーマにそった論文)と執筆候補者を決定した。
- ・書評本および評者候補を選定した。また、書評の取り扱い方について確認した。
- ・二〇〇四年三月発行の学術大会特集号に、新たに数名に論文執筆を依頼することを決めた。

### ○庶務委員会

日 時 二〇〇四年七月三日(土)一〇時三〇分～一三時

場 所 東京大学 法文二号館多分野交流室

出席者 櫻井治男、鈴木岩弓、田島照久(長)、中別府温和、星野英紀、松丸壽雄、山中弘、渡辺和子

### 議 事

- 一、二〇〇四年度の予算案について
  - ・八月に行われる選挙管理委員会の交通費支給について検討した。選挙管理委員会は常務理事で構成されるが、交通費支給による財政的負担を考え、首都圏在住者を中心に実務(開票作業)をお願いしたい旨、理事会に提案することを決めた。
  - ・本年九月の学術大会と来年三月のIAHR世界大会をあわせて、第六三回大会費用二二〇万円を計上するので、IAHR運営費としての項目立てはしないことを確認した。

### 二、改革諸案についての検討

委員から提出された学会運営に関する様々な問題点と提案を議論し、学術大会のあり方と学生会費の導入に絞って考えることにしたが、学生会費の導入は学会の財政全般に連動するため、本委員会の残された任期では学術大会の更なる質の向上を図ることを優先して検討することになった。若手研究者に発表の機会を提供するという現在のメリットを失わずに、発表時間の問題や部会制、パネル、ワークショップでの申込み、専門委員会の新設、公開講演会をシンポジウムにかえるなど、費用面も考慮しながら、具体的提案に向け継続審議する。

### 三、ホームページの外部情報について

懸賞論文も掲載することを確認した。

### ○国際委員会

日 時 二〇〇四年七月三日(土)一一時三〇分～一三時

## 報 会

場 所 東京大学 法文一号館一一五号室

出席者 荒木美智雄、池澤優、市川裕、小田淑子(長)、澤井

義次、月本昭男、渡辺学

## 議 事

## 一、韓国宗教学会との関係

IAHR世界大会に、韓国宗教学会会長の金鐘瑞ソウル大学教授を国連大学との共催パネルのパネリストとして、鄭鎮弘ソウル大学名誉教授をプレナリー・セッションのディスカッサントとして招待する。本年一月にソウルで開催される韓国宗教学会の大会には、島蘭会長が講演者として招待されており、同学会との交流の継続と発展を確認した。なお島蘭会長の招待に対する返礼として、本学会学術大会に金会長を招待する件を検討した。時期は来年度の大会が望ましいが、大会開催校との相談が必要であり、今回の委員会で審議する。

## 二、中国宗教学研究者との交流について

昨年秋季に荒木委員、島蘭会長らが中国社会科学学院を訪問し、IAHR世界大会への参加を要請した。九名を招待する予定であるが、大会でどのような企画や交流が可能か議論した。今回の議論も参考に、最終決定はIAHR実行委員会で行なわれる。一の議題とも関係して、中国、韓国の宗教学会、宗教研究者との交流の今後の発展について意見を交換し、継続して討議することになった。

## 三、SISR(国際宗教社会学会)によるIAHR世界大会での企画について

三つのパネルが計画されており、一つは昨年一二月に逝去さ

れた阿部美哉氏への追悼であるとの報告があった。

## 四、IAHR副会長候補について

IAHRの役員交代の時期を前にIAHR役員選考委員会より、月本委員を副会長候補に推薦することが決定したとの報告があった。月本委員よりIAHR実行委員会にも日本から委員を一名推薦することが望ましいとの説明があった。実行委員会はNUMENの編集にも携わっており、『宗教研究』に掲載された優秀な論文を同誌に翻訳転載するなど、本学会とIAHRとの関係強化の方法なども説明された。実行委員の推薦には時間的余裕があり、具体的決定は持ち越された。

## ○理事会

日 時 二〇〇四年七月三日(土)一三時〜一四時三〇分

場 所 東京大学 法文二号館教員談話室

出席者 洗建、荒木美智雄、池上良正、池澤優、石井研士、

市川裕、大貫隆、小田淑子、加藤智見、鎌田繁、氣

多雅子、櫻井治男、佐藤憲昭、澤井義次、島蘭進、

末本文美士、鈴木岩弓、鈴木正崇、田島照久、月本

昭男、土屋博、鶴岡賀雄、中野毅、中別府温和、中

牧弘允、中村生雄、西山茂、藤井正雄、星野英紀、

松丸壽雄、松本滋、宮家準、山中弘、渡辺和子、渡

辺学、小坂国継編集主任

## 議 事

## 一、第六三回学術大会について

大会実行委員長の鶴岡理事より、大会の概要と進行状況につ

いて報告があった。

## 二、IAHR第一九回世界大会の準備状況

実行委員会より、以下の報告があった。

- ・プレナリーセッションの確定、パネル構成の見通し、ホームページ更新、セカンドサーキュラー送付、本登録の状況。
- ・特別企画、ホームステイ、資金援助について。
- ・プログラムの構成、アブストラクト集の作成について。

## 三、諸委員会からの報告と提案

### (1)庶務委員会

#### ・二〇〇四年度予算案について

九月の学術大会と来年三月のIAHR世界大会をあわせて、大会費用二二〇万円が計上されるので、今年度の予算案の費目にIAHR運営費を別立てしないことを確認した。

#### ・選挙管理委員会への交通費支給について

財政面の理由により、常務理事で構成される選挙管理委員会の実務（開票作業）は首都圏在住者にお願ひし、交通費は首都圏在住者のみ支給するとの提案があり、承認された。

#### ・学会改革諸案について

学生会費を導入する場合、他の会員会費や支出も含めた財政全体の見直しを行わなければ困難であるとの説明があった。

今後は学術大会の更なる質の向上を図ることを優先して具体的提案に向け検討を続ける。

### (2)国際委員会

#### ・韓国、中国の研究者との交流について

韓国宗教学会の招待を受け、一一月にソウルで開催される大

会で島蘭会長が講演を行うが、その返礼として、来年秋の本学会学術大会に韓国宗教学会会長を招待する可能性について検討することになった。また、中国社会科学院から九名の研究者をIAHR世界大会に招待する予定であるが、どのような形で参加を求めめるか、IAHR実行委員会に検討を要請することにした。

#### ・IAHRとの関係について

IAHRより月本委員がIAHRの副会長候補に選ばれたとの報告があり、月本委員から経緯等について説明があった。

### (3)情報化委員会

・ホームページ内に、会合案内、助成金、会員の著書紹介等のページを開設した。

・国立情報学研究所の電子図書館への『宗教研究』掲載のための公告期間が年内で終わる。

・データベースの科学研究費が採択されたので、PDFファイル化の作業も進めていく。

### (4)編集委員会

・来年九月の特集号（テーマ「宗教——相克と対話」）は二部構成とし、一部はIAHR世界大会の七つのセッションの報告、二部はテーマにそった論文とする。

・本年九月の特集号（テーマ「イスラームと宗教研究」）と来年三月の学術大会特集号の編集状況について報告があった。

・書評の取り扱い方について検討を続けてきたが、取り上げる本と評者候補は、委員会の席上で決定する。

## 報 告

## 四、新入会員

別記一六名の入会が承認された。

## 五、日本学術会議について

宮家日本学術会議会員より、日本学術会議法の一部を改正する法律の概要について説明があった。

## ○日本教学会賞選考委員会

日時 二〇〇四年七月三日(土) 一四時三〇分～一六時

場所 東京大学 法文二号館多分野交流室

出席者 石井研士、鎌田繁、氣多雅子、末本文美士、鈴木正崇、月本昭男

## 議 事

## 一、委員長選出

互選により鎌田繁氏を委員長に選出した。

## 二、審査について

候補作品について審議し、分担ならびに審査方法、日程等を決定した。

## ○IAHR第一九回世界大会実行委員会

日時 二〇〇四年七月三日(土) 一四時三〇分～一七時三〇分

場所 東京大学 法文二号館教員談話室

出席者 荒木美智雄、池澤優、石井研士、市川裕、大貫隆、奥山倫明、小田淑子、鎌田東二、木村武史、氣多雅子、櫻井義秀、澤井義次、島蘭進、嶋田義仁、鈴木

岩弓、高島淳、田島忠篤、田島照久、月本昭男、津城寛文、土屋博、鶴岡賀雄、中野毅、中牧弘允、丹羽泉、長谷部八朗、藤原聖子、星野英紀、堀池信夫、村上興匡、山中弘、渡辺学

## 配付資料

仮登録の状況、仮登録リスト(パネル、個人研究発表)、正式登録の状況(演題一覧)、募金活動の状況、プレナリイ・セッション発表者一覧、特別企画の概要、資金援助の状況と審査委員会委員、HP上で公開するホームステイ申込情報の試案、セカンド・サーキュラー印刷版(日本語版・英語版)

## 議 事

一、島蘭委員長より、前回の実行委員会後の主な動きについて報告があった。

## 二、プログラムとパネルの構成(鶴岡プログラム委員)

・プレナリイ・セッションの発表者と日程が報告された。  
・今後のパネル形成に際して、コンビナーを探していただくよう協力が要請された。

## 三、特別企画について

・通常の研究発表とは異なる行事と、通常のパネルに近い形で行われる共同企画があるとの説明があった。  
・アトラクション的要素の多いものはアトラクション委員会が担当、研究発表等はアトラクション委員会とプログラム委員会が担当する。  
・立案中の企画について各担当委員より報告があった。これら

の企画内容はさらに検討を進めていくことになった。

#### 四、資金援助について（池澤広報・渉外委員）

- ・資金援助をめぐる問合せ状況が報告された。
- ・資金援助審査委員として、以下の一氏が承認された。

池澤優、澤井義次、塩尻和子、嶋田義仁、田丸徳善、月本昭男、土屋博、鶴岡賀雄、ジェームズ・ハイジック、前田専学、宮家準

#### 五、宿泊・ホームステイ・ツアーについて（市川開催地委員）

- ・教団ホームステイについて説明があった。海外からの参加者に比較的安価な宿泊を提供しつつ、日本の宗教文化に触れる機会をも提供することを目的とする。施設提供予定の教団は浄土真宗本願寺派、浄土真宗大谷派、金光教、天理教の四教団。

- ・教団ホームステイに関する問合せの詳細は、大会ホームページ（英語版）に記載することが報告された。

#### 六、その他

- ・発表要旨集の和訳は、氣多委員を中心に関西の若手研究者によって行われることが確認された。

- ・プロシーディングスについては、プレナリー・セッションの内容は活字化し、各種パネルおよび大会全体のプロシーディングスは大会側では作成しないことが承認された。

- ・サントナードールで開かれるヨーロッパ宗教学会議の際に、IAHR理事会が行われることが報告された（月本委員）。

### ○選挙管理委員会

日時 二〇〇四年八月七日（土）一〇時～一二時

場所 東京大学 法文一号館一一五教室

出席者 洗建、島蘭進、星野英紀、渡邊寶陽

#### 議事

#### 一、評議員選考委員選挙開票

#### 開票結果

#### ・理事互選分

有権者総数 八五

投票者総数 四五（投票率五三％）

有効投票者数四四／無効投票者数一

有効投票数一三二／無効投票数〇／白票〇

#### 有効投票数の内訳

金井新二12票、鶴岡賀雄8票、石井研士・蘭田坦・月本昭

男・宮家準・山中弘5票（以下、略）

同票の石井・蘭田・月本・宮家・山中の五氏は、選出内規に

従い、年長者一名を選出した。

この結果、金井、鶴岡、宮家の三氏が理事互選分による選考

委員に選出された。

#### ・一般投票分

有権者総数 一八三五

投票者総数 二九〇（投票率一六％）

有効投票者数二八八／無効投票者数二

有効投票数五七〇／無効投票数一／白票五

#### 有効投票数の内訳